



# 目標 11：世界に安全な街を

世界の街を見てみよう！何ができるかを考え、行動に移そう！



## 住居の問題

スラム…

都市部にある貧しい人たちが集まって住んでいる地域。

### 指標 11.1 スラム

(引用：学研キッズネット)

スラム街に住む人は約 10 億人にものぼり、今後 25 年間で 2 倍になると予測されている(2016)。アフリカでは、都市人口の 70%がスラムで暮らしている。19 世紀の間に都市の人口が大幅に増えたことが原因で、都市の貧困層は限られた場所で暮らさなければならぬ。犯罪や暴力などの危険も多く、人が密集していることもあり、病気にかかりやすくなる。ナイロビの都市部では、1000 人の子どものうち 150 人が 5 歳を迎える前に亡くなってしまふ。

(引用：UNEP 日本語情報サイト)

### 指標 11.6 ゴミ山で暮らす人々

貧困層の中には、ゴミ山で暮らし、ゴミの中から売れそうなものを集めながら生活を送っている人々がいる。生ゴミから不燃ゴミまでが分別されずに運ばれてくるため、ニオイはきつく、虫が飛んでいるなど衛生状態は非常に悪い。ゴミの中には注射針や化学薬品などの危険物が含まれていることも。ゴミ捨て場から流れ出る有害物質によってゴミ山付近では障害者が増えている。

(引用：日本国際ボランティアセンター) (左上・左画像：ハフィントンポスト)

スラムの様子



フィリピンのゴミ山の様子



## 基本的サービス

### 指標 11.2 交通機関へのアクセスと整備

インフラ(インフラストラクチャー)…

社会基盤(水路・鉄道・自動車道路・電気・水道・通信施設など)のこと。(引用：コトバンク)

貧困の原因には、インフラの整備が遅れていて経済発展が進まないことがある。電車やバスの導入、古い施設の工事、渋滞をなくすために道路を整備して法律を作る…など、インフラ整備にはやるのが多く、お金もかかる。まず、公共交通機関の必要性を理解している人は多くない。公共交通機関が発達していない途上国では、主に自動車が使われており、排気ガスが原因で大気汚染も問題になっているため、持続可能なまちづくりにはインフラ整備は欠かせない課題である。(引用：JICA)

### 指標 11.b 災害対策

自然災害死者数の 3分の2 を低所得国の人々が占める(1998~2008)。その理由は、低所得国の建物の耐震性が劣っているから。特に川や海など、水が溢れやすいところに住む場合は対策をしておかないと、すぐに家ごと水に流されてしまう。また、農業を主な産業としている国も多い。田畑は災害の影響を受けやすいため、対策をしないと経済的にも損害を受けることになる。(引用：防災科学技術研究所)

## 何ができる？—アクション例—

まずは、興味がある国・地域や上の中で最も興味があるトピックを選んでリサーチしてみよう！

**知** る：興味がある国の現状を調べる、どんな政策・対策があるか調べる など

**行動** する：活動団体に入る、活動団体を立ち上げる、現地でボランティア など

**広** める：街頭やオンライン(SNS・ブログ・YouTube など)で現状を広める など

**自分でアクションを起こそう！** —自分の目標と計画を立てて行動に移そう—

すぐにできること：

頑張ればできそうなこと：

挑戦したいこと：

Let's  
Take Action!